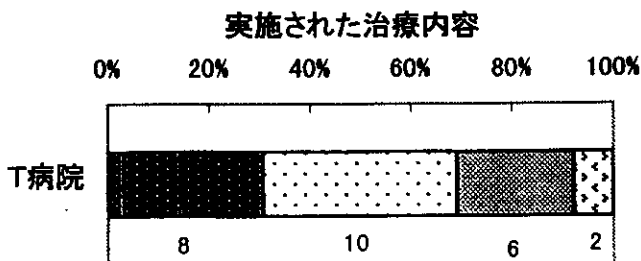


(11)実施された治療内容

抗精神病薬 8
 作業療法 10
 理学療法 0
 集団精神療法 0
 内科的治療 6
 その他 2



■ 抗精神病薬 □ 作業療法 ▨ 内科的治療 □ その他

<内科的治療の内容>

点滴、内服薬
 DMの治療
 胆石、OPE施科
 陰部悪性腫瘍
 LDH、GOT、CPTの上昇

<その他の内容>

低カリウム血症
 CPKの上昇、点滴

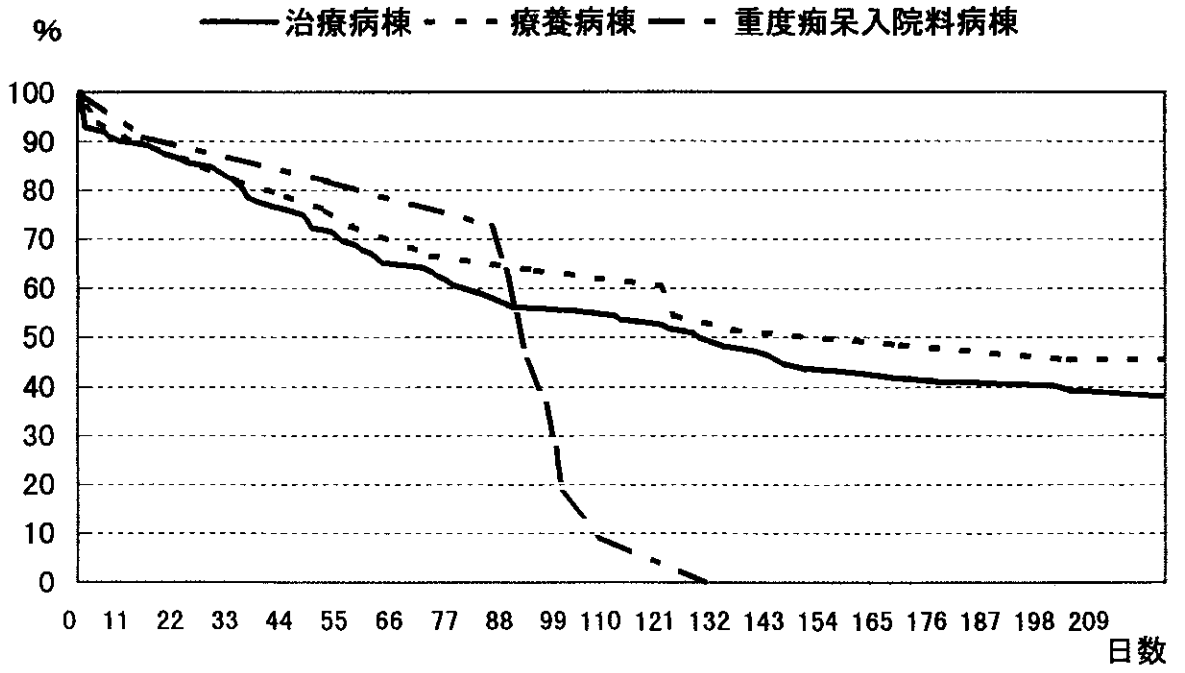
(12)経過上特に問題となった点

褥創、DM
 IVH施術、食事がとれるまでの工夫

(14)退院先

	人数	%
自宅療養	1	9.1
転棟	1	9.1
転院	4	36.4
転施設	5	45.5
グループホ-	0	0.0
死亡	0	0.0
入院中	0	0.0
合計	11	100.0

残留率(%)



調査用紙 1

平成13年 8月

病 院
院長殿

日本精神病院協会 高齢者対策・介護保険委員会
鮫島 健 中村英雄 (担当委員 松原三郎)

老人性痴呆疾患治療病棟ならびに療養病棟における患者調査の協力依頼

この度、日精協高齢者対策・介護保険委員会では、厚生科学研究を受けて、老人性痴呆疾患治療病棟ならびに療養病棟に入院している患者さんの重症度、合併症、さらに、その経過を調査することになりました。とくに20病院に限って調査を行います。

ご多忙のところ、申し訳ございませんが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。なお、ご提出は9月10日までに日本精神病院協会宛てにお願いいたします。

※ 調査用紙2が不足の場合はコピーしてご使用ください。

老人性痴呆疾患治療病棟ならびに療養病棟における患者状況調査

会員番号 () 病院名 ()

1. 最初に病棟の治療構造についてお答えください。平成13年1月時点の状況です。

(1) 届出ている病棟の種類、基準、定床数 (番号選択項目は該当番号に○をつけてください。)

病棟の種類	基 準	定床数
老人性痴呆疾患治療病棟入院料	1 無 2 有	床
老人性痴呆疾患 療養病棟	医療保険	1 無 2 入院料1 3 入院料2
	介護保険	1 無 2 有 (I・II・III・IV)

(2) 看護・介護職員等の実際の配置数

①看護職員 () 対 1

②看護補助職員 () 対 1

③その他の職員の配置状況 ※その他につきましては、職名もご記入ください。

職 名	職員数
a.作業療法士	人
b.理学療法士	人
c.P S W	人
d.臨床心理士	人
e.その他	人
	人
	人

(3) 内科医師の配置状況

①常勤換算後数 () 人 ②うち、常勤数 () 人

(4) 身体疾患への対応の方法

①専用病床はありますか? 1.有 2.無

②院内に内科病棟等ありますか? 1.有 2.無

③連携する内科病院ありますか? 1.有 2.無

調査用紙 2 (貴病院がお答えになるのは老人性痴呆疾患 治療 療養 病棟についてです)

2.平成13年1月の一ヶ月間に入院した患者さん全てを記入してください。

会員番号

(1)患者番号 ()	イニシャル ()
(2)性 別 (1.男 2.女)	年齢 () 歳
(3)入院日 入院前状況	平成13年1月 日 1.自宅 2.他病院.病棟 3.施設()
(4)痴呆の種類	1. アルツハイマー 2. 血管性 3. 混合性 4. その他 ()
(5)痴呆の程度 (入院時) 点数が不明な場合は 1.軽度~5.最重度 よりお選びください。	HDS-R () 点)、または MMS () 点)、 その他 () 1.正常 2.軽度 3.中等度 4.重度 5.最重度
(6)障害老人日常生活自立度 痴呆性老人日常生活自立度 (入院時)	1. 自立 2. J1 3. J2 4. A1 5. A2 6. B1 7. B2 8. C1 9. C2 1. 自立 2. I 3. IIa 4. IIb 5. IIIa 6. IIIb 7. IV 8. M
(7)精神症状・問題行動とその程度 ※該当する記号および番号に○をつけて下 さい(入院時)	a. せん妄・昼夜逆転 1.軽度 2.中等度 3.重度
	b. 幻覚・妄想 1.軽度 2.中等度 3.重度
	c. 不潔行為 (放尿・弄便) 1.軽度 2.中等度 3.重度
	d. 興奮 (暴言・暴行) 1.軽度 2.中等度 3.重度
	e. 叫声・独語 1.軽度 2.中等度 3.重度
	f. 介護への抵抗 1.軽度 2.中等度 3.重度
	g. 徘徊 1.軽度 2.中等度 3.重度
	h. 感情の不安定 (抑うつ) 1.軽度 2.中等度 3.重度
	i. その他 () 1.軽度 2.中等度 3.重度
(8)身体合併症とその程度 (入院 中に明かになったものも含む) (1.入院時 2.入院後)	病名(1・2) () 1.軽度 2.中等度 3.重度
	(1・2) () 1.軽度 2.中等度 3.重度
	(1・2) () 1.軽度 2.中等度 3.重度
(9)入院の主な理由	
(10)入院後の主症状の経過 (退院時点、または13年7月 時点の状態)	痴呆症状 (1.不変 2.やや改善 3.改善 4.やや増悪 5.増悪 6.動揺傾向)
	精神症状 (1.不変 2.やや改善 3.改善 4.やや増悪 5.増悪 6.動揺傾向)
	問題行動 (1.不変 2.やや改善 3.改善 4.やや増悪 5.増悪 6.動揺傾向)
	身体合併症 (1.不変 2.やや改善 3.改善 4.やや増悪 5.増悪 6.動揺傾向)
(11)実施された治療内容 (複数回答)	1. 抗精神病薬 2. 作業療法 3. 理学療法 4. 集団精神療法 () 5. 内科的治療 () 6. その他 ()
(12)経過上、特に問題となった 点	
(13)退院年月日 ※退院した場合のみご記入ください。	年 月 日
(14)退院先 (退院時)	1. 自宅療養 (外来通院:あり・なし) 2. 転棟 (内容) 3. 転院 (精神科、合併症など具体的に) 4. 転施設 (具体的に) 5. グループホーム 6. 死亡
(15)退院後の状況 (分かる範囲で) ※退院した場合のみご記入ください。	
(16) その他特記すべきことがあ ればご記入ください。	

協力病院一覧（五十音順）

あさかホスピタル

今村病院

大村病院

片山津丘の上病院

きのこエスポワール

木野崎病院

小倉蒲生病院

こだまホスピタル

桜ヶ丘病院

さわ病院

新船小屋病院

高田西城病院

たけとう病院

田宮病院

秩父中央病院

敦賀温泉病院

道央佐藤病院

東京武蔵野病院

戸田病院

ナカムラ病院

ハートランドしぎさん

秦野厚生病院

牧病院

松原病院(福井)

水間病院

緑ヶ丘保養園

八千代病院